

重要取組シート

産業振興局 産業戦略部

中百舌鳥イノベーション創出拠点担当

取組項目	中百舌鳥を拠点としたイノベーション創出に向けた取組推進
現状・課題	【現状】 (立地環境など) ○中百舌鳥エリアは、大阪市中心部へのアクセス性に優れ、大阪公立大学のほか、さかい新事業創造センター（S-Cube）、堺市産業振興センター、堺商工会議所などの産業支援機関や日本政策金融公庫堺支店が立地し、スタートアップ・中小企業の着実な経営を支えており、イノベーションに資する新たなビジネスの創出の中心的役割が期待される。 ○S-Cube の入居率は一定の成長を遂げ卒業企業が多数出ており、新規入居者の申込者が増えつつある。また、中百舌鳥エリア内で近年整備されている小規模な賃貸オフィスビルや昨年度 S-Cube 内に開設した民営スモールオフィスも概ね満室の状態であり、小規模の賃貸オフィスの需要は高い。 (事業環境など) ○全国的に事業所数が減少する中、新たな経済活動の担い手であるスタートアップ企業については、主体やスタイルが多様化している。 ○事業を急拡大させ、株式公開や M&A をめざすスタートアップは、ベンチャーキャピタルによる資金調達など、金、人、情報などが集まる東京に一極集中しており、関西圏では梅田に集まる傾向が強い。 ○一方、昨今、特にコロナ禍以降において、経済社会における価値観が大きく変化しており、ビジネスにおいては、社会課題解決、SDGs、ESG 等、持続的な社会と経済の発展に向けた取組が求められている。 ○近年イノベーション創出に向けた施策を強化しており、社会・経済に資する新たな価値創造に向けて取り組む起業家等が中百舌鳥に集まり、イノベーションの創出と支援のネットワークによるエコシステムが生まれつつある。 【課題】 ○首都圏や関西の中心部の特色を認識した上で、ゼブラ企業の創出促進など、中百舌鳥エリアの特色を踏まえたビジネスを創出する必要がある。 ※ユニコーン企業が利益の最大化、急成長を志向する一方、ゼブラ企業は、社会課題解決と経済成長の両立を目指し、持続的な繁栄をめざす。 (2022 年中小企業白書から引用) ○多様化するビジネスのスタイルに合わせた支援が必要となっており、民間企業や国、他の自治体・支援機関等と連携した支援の充実を図る必要がある。 ○中百舌鳥の持つイノベーションのポテンシャルを広く周知し認知度を高め、域内外の多様な人・事業者・支援者の交流と共創を促進し、新たなビジネスの創出を活性化させる必要がある。 ○大手企業と比し経営のためのリソースや知見が脆弱なスタートアップや中小企業の新たな技術や商品・サービス等が社会実装され、課題の解決や新たな価値をもたらすイノベーション創出に結びつけるには、実証実験等の機会提供やビジネスモデルの確立などのサポートが必要となる。 ○ICT 関連企業やスタートアップ等の事業所の集積促進や、企業ニーズに合ったオフィス・企業の交流を生むスペースの整備促進が必要となっている。 ○企業や大学が次世代クラスターの形成やイノベーション創出に取り組むための環

		境形成を図るべく、大阪公立大学や産業支援機関との研究・開発分野などにおける産学連携を強化する必要がある。
取組の内容		○スタートアップ・地域の中小企業・大学（研究者・学生）・次代を担う若者・支援機関・行政そして市民の共創によるイノベーションのポテンシャルを認識し、将来の地域・社会で求められること（社会課題・地域課題解決等）に資するプロジェクトの創出、実証・実装、コミュニティ形成促進等に向け、ワークショップやマッチング、ハンズオン支援等の施策を強力に推進しイノベーション創出につながる事業数の増加を実現する。 ・イノベーションを創出するコミュニティ形成の強化（拠点設置、オンライン） ・社会課題解決するプロジェクト・ビジネスの創出 ・創業・スタートアップ創出育成支援（アクセラレーション／インキュベーション） ・スタートアップ実証促進／ベンチャー調達（実証と実装） ○メディアを使いイノベーションの事例や創出に向けた取組を広く発信し、中百舌島のイノベーション創出拠点としての認知度を高める。 ・共感・共創のストーリーシートの作成と発信 ・全国に向けたPR ○オフィスの集積に向け、イノベーション創出に取り組む小規模事業者等を新たに対象としたオフィス開設に対する賃料の一部補助や、スモールオフィスやフレキシブルオフィス、一定規模以上の賃貸オフィスビルの整備に対し、経費の一部補助を実施する。 ○大阪公立大学に堺市専属のコーディネーターを配置し、ワークショップやマッチングなどを通じて、公立大学の持つ研究と市内中小企業によるコラボレーションによる新たなビジネスやプロジェクトの創出に向け取り組む。 ○大阪府、大阪市、堺市、大阪産業局、経済団体、大学等で構成する「大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」や市長公室、建築都市局と共に取り組む「NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム」など、関係機関と情報共有・協力して、イノベーション創出に向けより効果的な取組を進める。
スケジュール	前期 (～7月)	☐ スタートアップ支援事業等を実施（随時） ☐ 企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	中期 (～11月)	☐ スタートアップ支援事業等を実施（随時） ☐ 企業投資促進施策を総合的に実施（随時） ☐ S-Cube 内にイノベーション創出拠点設置
	後期 (～3月)	☐ スタートアップ支援事業等を実施（随時） ☐ 企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	次年度以降	☐ 効果検証を含めた事業展開を行う。

(様式 4)

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 事務所開設、整備に対する補助金について、宅建業協会、不動産協会、および不動産事業者へ随時周知（4月～）、金融機関説明会にて周知（4/18） ☐ アクセラレーションプログラムの募集開始（5月～） ☐ 堺市内で実証事業を行うスタートアップの募集開始（5月～） ☐ ベンチャー調達認定制度の募集開始（6月～）		
	中期 (～11月)	☐ 地域社会未来創出プロジェクトを開始（8月～） ☐ スタートアップ実証事業の支援企業決定、実証開始（9月～） ☐ 市内企業のイノベティブな取組を紹介するストーリーシートを公開（9月～） ☐ イノベーション交流・共創拠点「Community room cha-shitsu（茶室）」を開設（10月～）し、オープニングイベントを開催（10月20日） ☐ 大阪公立大学と産学官連携セミナーを開催（10月24日） ☐ ベンチャー調達認定制度の認定企業・商品決定（10月19日） ☐ 市内中学校の協力によるアントレプレナーシップ教育プログラムを実施（11月） ☐ 小学生とその保護者を対象とした、市内事業者の商品・サービス体験できるイベントを開催（11月25日）		
	後期 (～3月)	☐ 「中百舌鳥イノベーションシンポジウム」を開催（1月15日） ☐ 市内の子育て中の方々に企業アンバサダーに就任いただき、新しい商品開発やPRに向けた活動を実施（2月2日、2月16日、3月1日） ☐ 市内の子育て中の方々と市内企業による「アイデア会議」を立ち上げ商品に関する意見交換を実施（1月25日、2月8日、3月7日） ☐ 各支援プログラムの成果発表の場としてのデモデイ「Nakamoze innovation Meeting」を開催（2月18、19日） ☐ 大阪公立大学と産学官連携セミナーを開催（12月19日、2月27日） ☐ 令和5年度ベンチャー調達認定制度の認定企業と連携し、メタバースオンライン英会話を開催（神石小学校：2月20日 大仙小学校：2月22日）		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4-（4）成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出		
	寄与する KPI	イノベーション創出につながる事業数[現状値：74件 (2015年度～2019年度の累計)]		目標値（2025年度） 100件（2021～2025 年度の累計）
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
	寄与する KPI			目標値（2023年度）